

# 総合交通メールマガジン 第31号

平成23年2月3日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

## 目次



### Topics

- ・第31回総合的交通基盤整備連絡会議を開催しました！
- ・「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の実施について  
(京都府京都市、島根県津和野町)



### Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



### 編集後記

## Topics

### 第31回総合的交通基盤整備連絡会議を開催しました！

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

参事官室では、総合的な交通施策に関し、都道府県及び政令指定都市との連絡調整を図り、各地方公共団体における総合交通関連の検討等を支援することを目的として、1月17日(月)に標記会議を開催致しました。昨年度に続き、地域のモビリティ確保に関するノウハウの提供を主な議題としたため、希望する市区町村の交通担当者の方々にも参加可能な形式をとりました。市区町村の参加を募ったところ、予想を上回る応募があり、定員オーバーとなったためやむなくお断りをさせていただいた市区町村もございました。結果、全体で約130名の方に出席頂きました。

会議では、神戸大学大学院教授の喜多秀行先生および筑波大学大学院講師の谷口綾子先生から、それぞれ、「地域でつくる公共交通計画」、「モビリティ・マネジメントの勘所」と題してご講演を賜りました。

また、現在自治体等で交通施策に携わっている4名の担当者の方から、現場の事例を報告頂き

ました。富山県富山市からは「自転車市民共同システム（アヴィレ）～環境にやさしい公共交通～」と題して、欧州での取組みをモデルとし、民間と共同で整備・運営を行っているレンタサイクル施策について報告頂きました。京都まちづくり交通研究所からは「京都市都心における地域主体の交通まちづくり」と題して、中心市街地の商店が運営主体となった京都よるバスの取組みを、また、熊本県菊池市からは「菊池市の交通体系の構築（交通体系の見直し～新たな交通体系の構築にいたるまでに起きたさまざまな課題について～）」と題して、行政と交通事業者との調整の勘所と当該地方にマッチした交通体系の構築について報告頂きました。さらに、山口県山口市からは「山口県山口市の交通まちづくり」と題して、住民自ら地域の足を企画・運営し行政がサポートする取組みについて報告頂きました。

会議の議事次第、喜多先生、谷口先生、事例報告団体等の配布資料については、以下のURLをご参照下さい。



喜多先生の講演



会場の風景

【第31回総合的交通基盤整備連絡会議の議事次第についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101giji-shidai.pdf>

【喜多先生の配布資料についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo4.pdf>

【谷口先生の配布資料についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo1.pdf>

【事例報告団体の配布資料についてはこちら↓】

富山県富山市：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo2.pdf>

京都まちづくり交通研究所：

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo3.pdf>

熊本県菊池市：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo5.pdf>

山口県山口市：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101siryo6.pdf>

## 「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の取組みについて

(京都府京都市、鳥根県津和野町、国土交通省 政策統括官付 参事官室)

参事官室では、人の移動に着目し、出発地から目的地に至るまでの総合的な交通に関する施策を推進しています。昨年度から「モビリティサポートの推進」施策を創設し、歩行者が必要に応じ移動に関する情報を入手し、快適・安心かつ安全に移動して積極的に活動できる環境を構築することを目的に、ユビキタス技術等を活用したモビリティサポートサービスの普及展開を推進しています。

それに伴い、当室では、モビリティサポートサービスの普及展開を目指した取組に対して支援する「モビリティサポートモデル事業」を実施しています。今年度はモデル事業の実施箇所を7箇所選定しており、本号では京都府京都市、鳥根県津和野町の取組を紹介致します。

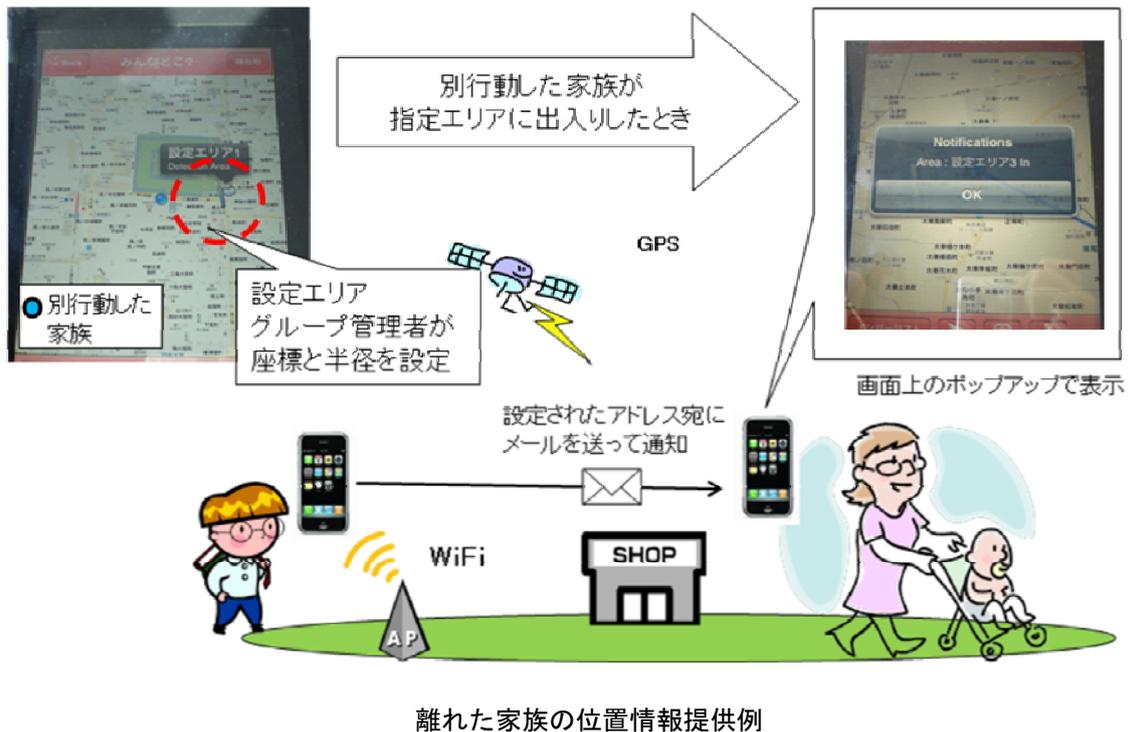
### ◇ 京都府京都市の取組

～ベビーカーを利用した赤ちゃん連れなどの移動制約者に対する歩行者移動支援サービス～

京都は、年間約5000万人の人が訪れております。中でも嵐山地区は清水寺に次ぐ第2の観光スポットとして有名で、修学旅行の学生や一般の観光客の他、赤ちゃん連れ家族や高齢者、外国人と言った移動制約者の観光客も多くが訪れております。一方で、嵐山地区の観光地周辺では、道幅の狭い通路等のバリアが多く存在しており、これらは移動制約者にとって障害となっている。また、特に赤ちゃん連れの家族にとっては、赤ちゃん連れでも使えるトイレの有無や、急病時どこに病院があるかなど、不慣れな場所を訪れることに対して大きな不安を感じており、それらが精神的なバリアとなっております。

このような課題を解決するために、国土交通省の平成22年度モビリティサポートモデル事業により、京都嵐山を訪れるベビーカーを利用した赤ちゃん連れの家族や外国人などの移動制約者に対して、ICT（Information and Communication Technology: 情報通信技術）を活用し、移動する上で障害となる段差や道幅の狭い道路の位置などのバリア情報や、赤ちゃん連れ用施設情報を提供し、安全で快適に移動するための情報を分かり易く提供するための実証実験を行っています。

実証実験では、実験エリア内において、スロープ、段差、幅員、多機能トイレの位置などの情報を格納した歩行空間ネットワークデータを整備し、それらを国土地理院が発行する場所情報コード（u-code）と関連づけて登録しています。実験参加者は、iPhoneやiPadを利用し、GPSやWiFiといった位置特定インフラから得られる位置情報から場所情報コードを通じて、経路案内や経路上のバリア（段差、スロープ等）の有無、バリアフリートイレの位置などを把握できます。



【京都府京都市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101kyoto.pdf>

国土交通省「モビリティサポートの推進」サイトホームページ：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000023.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html)

京都子連れ観光推進協議会事務局ホームページ：

<http://faminavi.org/>

◇ 島根県津和野町の取組 ～障がい者にやさしい観光まちづくりを目指して～

津和野町は、700年以上の歴史と文化を持ち、山陰の小京都と称される日本を代表する観光地です。2009年には、「ミシュラン」と双璧をなすフランスの旅行ガイドブック「ブルーガイド」で津和野町は3つ星（必見の観光地）を獲得し、これをきっかけとして障がい者、外国人などの移動制約者の観光客が増加しています。

津和野町内の中心地は、バリアフリー化が進んでいますが、伝統的な観光施設が多いこともあり観光施設へのアクセスルートには、多くのバリアが存在しています。



蓋のない水路



観光地前の階段

図 津和野町内のバリアの状況

例えば、津和野町に巡らされている錦鯉で有名な水路の多くには蓋がなく、歩行者にはバリアとなっているのが現状です。また、津和野町を訪れる日本人観光客の半数以上は、高齢者であり、円滑で安全な移動が困難な場面が多く見受けられます。

このような課題に対応するため、高齢者や障がい者、外国人観光客などの移動制約者に対応できる人材の育成を進めていますが、人的資源には限りがあり、すべてのニーズに対応することは困難です。

そのため、国土交通省の平成22年度モビリティサポートモデル事業により、津和野を訪れる移動制約者に対して、ICTを活用し、注意喚起情報や緊急情報など、安全に移動するための情報をわかりやすく提供するための実証実験を行っています。

【島根県津和野町の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1101tsuwano.pdf>

国土交通省「モビリティサポートの推進」サイトホームページ：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000023.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html)

津和野町商工観光課ホームページ：

<http://www.tsuwano.ne.jp/kanko/modules/pico/index.php/content0226.html>

## Information

### **総合交通メールマガジンの受付窓口の変更についてお知らせ下さい。**

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail：[soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

### **総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！**

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

### **地域の取組募集！！**

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂け

る自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて57件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



当室からは、「モビリティサポートモデル事業」の実施箇所の取組として、京都府京都市と島根県津和野町の取組について紹介致しました。また、「第31回総合的交通基盤整備連絡会議」の開催報告をさせて頂きました。出席者からは、発表内容への評価のみならず、発表者の前向きな取組姿勢や熱意に勇気づけられたとの声を多数頂きました。当日発表頂いた喜多教授、谷口講師、事例報告団体（富山県富山市、山口県山口市、熊本県菊池市、京都まちづくり交通研究所）の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 小林

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

